

(社)日本非破壊検査協会 学術組織再編に伴う会員登録事項の 変更について



ナンディちゃん

(社)日本非破壊検査協会会員の皆様におかれましては、当会の事業に関しまして、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、既にご承知おきのこととは存じますが、平成22年度から学術組織が再編され、これに伴い正会員の登録内容が変更されます。

つきましては、下記の【同封書類】をお読み頂き、会員登録内容(変更)書及び部門登録申請書に必要事項をご記入の上、**期日までに同封の返送用封筒にてご返送ください。**

会員登録内容(変更)書及び部門登録申請書 返送期限▶平成22年2月15日(月)(必着)

同封書類

| 書 類 名 | 内 容 | 団体会員様 | | 個人会員様 | |
|----------------------------------|---|-------|----|-------|------|
| | | 同封書類 | 返送 | 同封書類 | 返送 |
| 1 本書面 | 表面：学術組織再編に伴う会員登録事項の変更について 裏面：団体会員向け 部門登録・部門委員会委員 登録の流れ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 団体会員様宛名用紙【別紙1】* | 団体会員登録内容(変更)書(宛名住所の下部に記載) | ○ | ◎ | ○ | ○ |
| 3 個人会員様宛名用紙【別紙2】* | 個人会員登録内容(変更)書 兼 個人会員用部門登録申請書 (宛名住所の下部に記載) | ○ | ○ | ○ | ◎ |
| 4 学術組織再編関係の説明書 兼 団体会員用部門登録申請書 | 【別紙3】部門登録のお願い—JSNDIの学術組織が変わります— | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 【別紙4】団体会員用部門登録申請書の記入方法について | ○ | ○ | ○ | ○ご参考 |
| | 【別紙5】団体会員用部門登録申請書(切り取ってご使用ください。コピーも可) | ○ | ◎ | ○ | ○ご参考 |
| 5 返送用 封筒 | | ○ | ◎ | ○ | ◎ |

※別紙1及び別紙2は現在の会員様の登録内容が記載されております。

団体会員の登録内容変更点

今回の組織変更で団体会員の種別、種別毎の会費額、正会員の権利については変更ございません。

- 団体正会員登録事項から「代表者」、「分科会」の区分がなくなり、「部門」(後述)への登録に関わりなく、団体会員の登録者はすべて同等に協会の正会員となります。
- 従来の「分科会」は「部門」という組織に再編成されます。
- 従来の「代表者」に代えて、新たに「機関誌・会費請求書 宛先」のご担当が必要となります。
- 同封の別紙1「会員登録内容(変更)書」では、上記で述べました「代表者」と「分科会」登録者の区分を除いた内容が示されています。この内容をご確認頂くとともに新たに「機関誌・会費請求書 宛先」のご担当者をお選びの上、所定の返送用封筒で協会宛ご送付ください。
- 団体正会員の種別に応じて「部門」及び「部門委員会委員」へ登録頂き、これまで同様に学術活動にご協力のほどお願い致します。詳しくは、別紙3「部門登録のお願い—JSNDIの学術組織が変わります—」及び「団体会員向け 部門登録・部門委員会登録の流れ」(裏面)をお読みください。

個人会員の登録内容変更点

今回の組織変更で会費額の変更はございません。

- 個人正会員は、従来の登録内容から新たに「部門」に登録することができます。詳しくは、別紙3「部門登録のお願い—JSNDIの学術組織が変わります—」をお読みください。

特別研究委員会に参加頂いている 企業の方の登録内容変更点

- これまで「特別研究委員会に参加頂いていた企業」の方は、「団体正会員」あるいは「個人正会員」として、協会の正会員となって頂き、「部門」にご登録のうえ学術活動にご協力ください。

個人正会員限定

WEBシステムからの 部門登録

個人正会員は、WEBシステムからも部門登録が可能です。初めてWEBシステムをご利用の方は、当会ホームページ<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsndi/>の「日本非破壊検査協会WEBシステムはこちらから」からIDとパスワードを取得し、WEBシステムの利用者申請を行ってください。

利用者登録後にWEBシステムへログイン(ID、パスワード及び会員番号(別紙2に記載)を入力)し、『電子申請』メニュー⇒『会員登録・変更届け』⇒『個人会員登録内容変更届け』で部門を登録してください。

お問合せ先

(社)日本非破壊検査協会 ■総務課 ☎03-5821-5101 ■学術課 ☎03-5821-5105

《注》なお、受験申請期間と重なるため、電話がつながりにくくなる可能性があります。予めご了承ください。

団体会員向け 部門登録・部門委員会委員 登録の流れ

(例) 団体会員 A種の場合

表1 団体会員登録事項から代表者・分科会区分が無くなります

| 会員種別 | 機関誌・会費請求書宛先 | 代表者・分科会 | 氏名 (正会員登録者) |
|------|-------------|-------------|----------------|
| 正会員 | | 代表者 | 非破壊 太郎 |
| 正会員 | | 放射線分科会 | 非破壊 二郎 |
| 正会員 | ○ | 超音波分科会 | 非破壊 三郎 |
| 正会員 | | 表面探傷分科会 | 非破壊 四郎 |
| 正会員 | | 応力・ひずみ測定分科会 | 非破壊 五郎 |

従来は代表者のほか、各分科会に1名ずつご登録頂いていました。

再編後は、団体会員登録事項から代表者・分科会区分が無くなります。A種を例にしますと表1に示すように5名の登録者はすべて同等に協会の正会員となります(このうち1名の方を機関誌・会費請求書宛先とさせていただきます)。

貴団体の正会員の登録状況は、[別紙1]に記載されています。また、正会員登録者とは関係なく、貴団体に属する方であれば、事前申し込みを条件に、表2で登録頂いた「部門」の学術活動に参加することができます。また、部門の企画・運営に積極的に参画頂ける方がおられましたら、表3で部門委員会委員としてご登録をお願い致します。

分科会登録に代えて部門登録が可能となります。

団体会員A種としての部門登録の権利では、12部門以内への登録が可能です。当該団体会員(事業所内組織)に属する方であれば事前登録を条件にどなたでも部門の学術行事に参加できます(参加は、表1の正会員登録者に限定しません)。

表2では10部門登録した例が示されています。

会員種別と最大登録部門数

| 会員種別 | 部門数 |
|------|-----|
| A | 12 |
| B | 8 |
| C | 5 |
| D | 3 |

部門委員会委員登録は、正会員登録とは異なります。貴団体に所属する方を、当該登録部門数×3名以内で登録することができます。

表2の部門登録の例の場合ですと、団体会員A種としての部門登録の権利を10部門行使されています。この場合、登録された10部門に対してそれぞれ最大3名まで(10×3=30名まで)の部門委員会委員登録が可能です(同じ方を、異なる部門の部門委員会委員に登録することも可能です)。

ただし、必ずしも全ての部門に部門委員会委員を登録する必要はございません。

表3では16名を登録した例が示されています。部門委員会委員に登録された方は当該部門の企画・運営に関わって頂きます。

表2 部門登録の例(10部門登録した場合)

| | 選択 | 部門名 |
|----|-------------------------------------|-------------------------|
| 1 | <input checked="" type="checkbox"/> | 放射線部門(RT) |
| 2 | <input checked="" type="checkbox"/> | 超音波部門(UT) |
| 3 | <input checked="" type="checkbox"/> | 磁粉・浸透・目視部門(MT/PT/VT) |
| 4 | <input checked="" type="checkbox"/> | 電磁気応用部門(ET/MFLT) |
| 5 | <input type="checkbox"/> | 漏れ試験部門(LT) |
| 6 | <input type="checkbox"/> | 応力・ひずみ測定部門(SSM) |
| 7 | <input checked="" type="checkbox"/> | アコースティック・エミッション部門(AE) |
| 8 | <input checked="" type="checkbox"/> | 赤外線サーモグラフィ部門(TT) |
| 9 | <input checked="" type="checkbox"/> | 製造工程検査部門(IPI) |
| 10 | <input checked="" type="checkbox"/> | 保守検査部門(MI) |
| 11 | <input checked="" type="checkbox"/> | 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門(RC) |
| 12 | <input checked="" type="checkbox"/> | 新素材に関する非破壊試験部門(NMT) |

表3 部門委員会委員登録の例(16名を登録した場合)

| 部門委員会名 | 委員登録者名 | 部門委員会名 | 委員登録者名 |
|------------|--------|----------------|--------|
| 放射線部門 | 瑞江 太郎 | AE部門 | 非破壊 太郎 |
| 放射線部門 | 非破壊 四郎 | AE部門 | 非破壊 三郎 |
| 放射線部門 | 非破壊 五郎 | AE部門 | 能大 雅夫 |
| 超音波部門 | 非破壊 三郎 | 赤外線サーモグラフィ部門 | 非破壊 太郎 |
| 超音波部門 | | 赤外線サーモグラフィ部門 | 乃亭 宏 |
| 超音波部門 | | 赤外線サーモグラフィ部門 | |
| 磁粉・浸透・目視部門 | 瑞江 太郎 | 製造工程検査部門 | |
| 磁粉・浸透・目視部門 | 非破壊 四郎 | 製造工程検査部門 | |
| 磁粉・浸透・目視部門 | | 製造工程検査部門 | |
| 電磁気応用部門 | 能大 雅夫 | 保守検査部門 | 非破壊 太郎 |
| 電磁気応用部門 | 野逞 京子 | 保守検査部門 | |
| 電磁気応用部門 | 乃亭 宏 | 保守検査部門 | |
| 漏れ試験部門 | | 鉄筋コンクリート構造物部門 | |
| 漏れ試験部門 | | 鉄筋コンクリート構造物部門 | |
| 漏れ試験部門 | | 鉄筋コンクリート構造物部門 | |
| 応力・ひずみ測定部門 | | 新素材に関する非破壊試験部門 | 瑞江 太郎 |
| 応力・ひずみ測定部門 | | 新素材に関する非破壊試験部門 | |
| 応力・ひずみ測定部門 | | 新素材に関する非破壊試験部門 | |

表2で選択されていないので登録不可



ノンディちゃん

学術組織再編関係の説明書

別紙 3

部門登録のお願い
— JSNDIの学術組織が変わります —

1p

別紙 4

団体会員用 部門登録申請書の記入方法について

5p

別紙 5

団体会員用 部門登録申請書

部門登録のお願い

— JSNDIの学術組織が変わります —

(社)日本非破壊検査協会

日本非破壊検査協会の学術活動を担ってきた分科会と特別研究委員会は、平成22年度より、以下の12の「部門」として再編成されます。

要素技術分野

- ・放射線部門 (RT)
- ・超音波部門 (UT)
- ・磁粉・浸透・目視部門 (MT/PT/VT)
- ・電磁気応用部門 (ET/MFLT)
- ・漏れ試験部門 (LT)
- ・応力・ひずみ測定部門 (SSM)
- ・アコースティック・エミッション部門 (AE)
- ・赤外線サーモグラフィ部門 (TT)

応用技術分野

- ・製造工程検査部門 (IPI)
- ・保守検査部門 (MI)
- ・鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門 (RC)
- ・新素材に関する非破壊試験部門 (NMT)

『団体会員』の方は、これまで分科会活動で協会の学術活動を支えて頂いて来ましたが、再編後は、「部門」に登録頂くことで、引き続き協会の学術活動にご支援、ご協力をお願い致します。

『個人会員』の方は、これまで分科会への参加は限定的（主査推薦のみ）でしたが、再編後は、「部門」に登録することで学術活動への参加が可能となります。

また、これまで『特別研究委員会に参加頂いていた企業』の方は、再編後、『団体会員』あるいは『個人会員』として協会の正会員となって頂き、「部門」にご登録のうえ学術活動へのご支援、ご協力をお願いいたします。

部門登録に関する次頁以降のご案内をお読みの上、是非部門登録をお願いいたします。なお、12の部門の活動内容については機関誌第58巻8号（平成21年8月号）353～358頁で紹介していますのでご覧ください。

1 はじめに

日本非破壊検査協会（以下、協会とします）における学術活動は、非破壊試験に関わる標準化、教育、認証などの基盤をになうものとして重要な位置を占めており、春秋講演大会や機関誌において研究成果発表が行われているほか、専門分野別の学術活動の場として、以下の4つの「分科会」と6つの「特別研究委員会」（以下、特研とします）、および期間限定で設置される「研究会」がありました。

【分科会】

放射線分科会、超音波分科会、表面探傷分科会、応力・ひずみ測定分科会

【特別研究委員会】

保守検査特別研究委員会、画像処理特別研究委員会、アコースティック・エミッション特別研究委員会、新素材の非破壊評価特別研究委員会、赤外線サーモグラフィによる非破壊評価特別研究委員会、鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験特別研究委員会

【研究会】

（期間2年、現在は以下の3つの研究会が活動中）
電界計測を基盤とする非破壊評価高度化研究会、レーザー超音波および先進非接触計測技術研究会、非線形超音波研究会

これらのうち、分科会は非破壊試験の主要分野（放射線、超音波、表面探傷、応力・ひずみ測定）をカバーする学術組織として協会設立以来の歴史を持ち、主として団体会員を中心とした活動が行われてきました。また、特研も、その活動趣旨に賛同する団体の登録メンバーにより活動が行われてきました。このように分科会、特研いずれにおいても、活発な活動により、当協会の学術的基盤が支えられてきましたが、これまで個人会員の参加は限定的となっていました。図1に、分科会および特研の大まかな構成を示します。

協会では、平成16～17年度に将来構想検討委員会、平成18～19年度に学術改革検討委員会を設置し、分科会・特研への個人会員参加の促進や、従来の縦割型組織だけでなく、異なる分野が横断的に連携できる組織の構築などを議論してきました。

これらの検討の結果、まとめられた学術組織再編案を平成20年4月に協会ホームページ上で発表するとともに、説明会を開催し、また各支部総会等の場でも説明を行ってきました。この後、平成20年度の評

議員会および総会において、以下を骨子とする学術組織再編案が提案され、承認されました。

- (1) 分科会と特別研究委員会を12の学術組織に再編すること。
- (2) 新学術組織では個人会員の参加を可能とすること。
- (3) 団体会員の年会費据置きで登録数上限を増加し、資料送付サービスを行うこと。

総会で承認された上記の学術組織再編を実行に移すため、協会では平成20年度より学術委員会内に学術組織再編WGを設置し、新組織に適用する新しい規則の制定と関連する現行規則の改定、現組織を円滑に新組織へ移行させるための各種検討作業を進めてきました。

これらの検討作業の結果、協会の学術活動を担ってきた分科会、特研は、平成22年度より、新組織（部門）に移行することになりましたので、以下に説明させていただきます。会員諸氏におかれましては、このことをご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

2 新組織について

学術組織再編により、以下の12の部門が発足します。各部門の活動内容については、機関誌第58巻8号（平成21年8月号）で紹介していますのでご覧ください。

【要素技術分野】

放射線部門 (RT)、
超音波部門 (UT)、
磁粉・浸透・目視部門 (MT/PT/VT)、
電磁気応用部門 (ET/MFLT)、
漏れ試験部門 (LT)、
応力・ひずみ測定部門 (SSM)、
アコースティック・エミッション部門 (AE)、
赤外線サーモグラフィ部門 (TT)

【応用技術分野】

製造工程検査部門 (IPI)、
保守検査部門 (MI)、
鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門 (RC)、
新素材に関する非破壊試験部門 (NMT)

3 部門の学術活動について

3-1 部門の学術活動への参加

(1) 団体会員

① 団体会員の部門登録

A種～D種の会員種別(年会費はこれまでと同じ)に応じて、登録できる部門数の上限が

- A種：最大 12部門
- B種：最大 8部門
- C種：最大 5部門
- D種：最大 3部門

となります。この上限を超えない範囲で、希望する部門を選んで登録することができます。部門の学術行事(討論会、見学会、等)には、登録した団体会員(組織)に属する方であれば、事前申し込みを条件にどなたでも参加することができます。参加者には資料を無料配布(1団体につき1名あたり1部、最大5部まで)する予定です。団体会員には、登録した部門の学術行事に関する案内をメールで送信するとともに、当日の出欠に関わらず配布資料(1部)を事後送付するサービスを行う予定です(ただし、シンポジウムにおける資料配布や送付については各部門の定めによります)。

② 団体会員の部門委員会委員登録

部門に登録した団体会員は、当該部門へ同一団体3名を超えない範囲で部門委員会に委員を登録することができます。部門委員会委員になられた方には、当該部門の学術活動の企画・運営に関わって頂くことになります。学術行事に出席した部門委員会委員には資料1部を無料配布いたします。

(2) 個人会員

12の部門から希望する1部門を選んで登録することができます。事前申込を条件に登録した部門の学術行事(討論会、見学会、等)に参加することができます。参加者には、原則として資料を実費相当額で頒布いたします。学術活動の案内はメールで送付します。また、追加登録費を支払うことで、さらに一つの部門に登録することを可能としています(個人会員が登録できる部門数は最大2としています)。

3-2 部門における学術活動の形態

部門では、原則として、所掌する分野に関連した学術行事(討論会、講演会、見学会、等)を年3回開催します。また、このうち1回は、非登録会員や非会員も参加できるシンポジウムとして活発な情報交換を行う予定です。

さらに、複数の部門が連携して行う学術活動も積極的に企画される予定となっており、実際には登録した部門のみでなく、かなり多くの部門が関与する学術活動に参加できることが期待されます。

部門の学術活動を企画、運営する中核としての部門委員会は、部門登録した団体会員が登録する委員に、部門主査が推薦し学術委員会で承認する個人会員を加えて構成されます。部門によっては、より効率的な企画・運営を行うために部門委員会の中に幹事会を設けることがあります。

また、特に必要な検査技術等について、部門の中に研究委員会を設立して、主査が選出するメンバーにより研究活動を行います。図2に部門の企画・運営や部門における学術活動のイメージを示します。

4 会員の権利はどう変わるか?

以下の表は、協会の団体会員(A種～D種)および個人会員の各種権利のうち、今回の学術組織再編によりどこが変わるかを示しています。

今回の再編による変更点

| | 入会金 (円) | 年会費 (円) | 正会員 登録数* | 分科会 登録数 | 部門登録 可能数 |
|--------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 団体会員 (A種) | 5,000 | 140,000 | 5 | 4 | 12 |
| 団体会員 (B種) | 5,000 | 115,000 | 4 | 3 | 8 |
| 団体会員 (C種) | 5,000 | 95,000 | 3 | 2 | 5 |
| 団体会員 (D種) | 5,000 | 70,000 | 2 | 1 | 3 |
| 個人会員 | 2,500 | 9,000 | 1 | 0** | 1*** |

*正会員の権利:機関誌配布、評議員及び役員選挙権、総会議決権、学術講演会登壇、機関誌投稿、図書閲覧、会員割引、等(詳しくは協会事務局までお問い合わせ下さい)

**主査に推薦され学術委員会で承認された個人会員は分科会参加可能

***希望により、追加登録費を支払うことでさらにもう一つの部門に登録可能

このように、団体会員の方については、年会費据え置きで、登録できる部門数が大幅に増えることとなります。また、A～Dの種別に応じた数の正会員の権利(機関誌配布、評議員及び役員選挙権、総会議決権、学術講演会登壇、機関誌投稿、図書閲覧、会員割引、等)については、今回の学術組織再編による変更はありません。

5 部門登録のお願い

新学術組織発足の目的は、協会の学術活動をさらに活性化することにあります。これまで個人会員の参加が限定的であった分科会や特研の活動に個人会員の参加を促すことにより、団体会員、個人会員の両方の立場から見て、非破壊試験に関わる最新の有用な情報が広く得られ、より広範な視点で議論が行えることにより、協会の学術活動のさらなる活性化をはかることが目的です。このために会員各位の積極的な部門活動への参加とご協力をお願い致します。

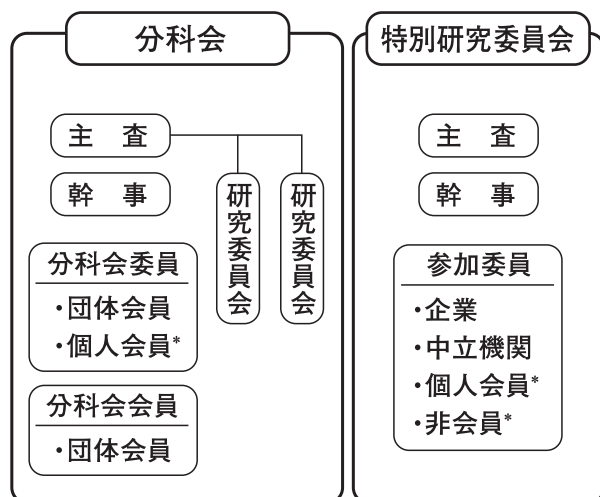


図1 現行の分科会と特別研究委員会

現行の分科会および特研では、個人会員の参加(*)には主査の推薦および学術委員会の承認が必要となっています。

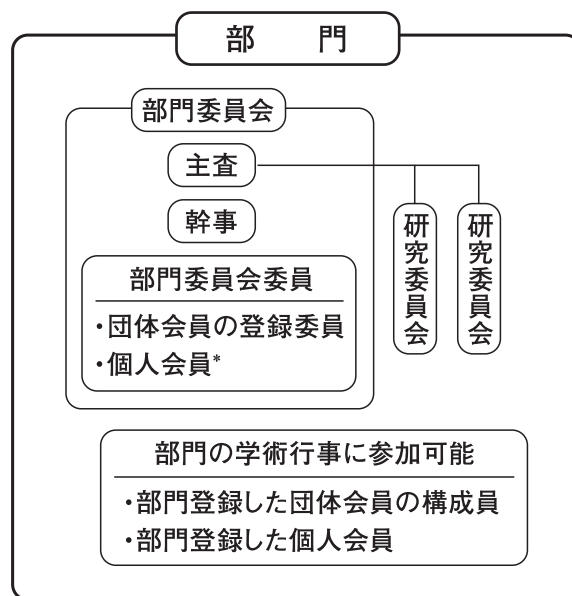


図2.新学術組織(部門)のイメージ

部門に登録した団体会員の構成員、および部門に登録した個人会員は、部門の学術行事に参加することができます(個人会員の部門委員会委員就任(*)には主査の推薦と学術委員会承認を必要とします)。

別紙 4

団体会員様用 団体会員用部門登録申請書の記入方法について(記入例)

1 団体名
団体会員として、登録している団体名を記入して下さい。

2 会員番号
送付しております会員登録内容(変更)書に記載しております会員番号(9桁)を記入して下さい。

3 団体種別
団体会員として、登録している種別にレ点を入れて下さい。

【別紙5】

JSDI 団体会員用部門登録申請書

備考欄：
(事務届記入欄)

申請日：平成 年 月 日 ※ 本申請書の記入については、別紙の記入方法(記入例)をご参照下さい。

1 (フリガナ) 団体名

2 会員番号

3 団体種別 ※ □に☑して下さい。
最大部門登録可能数

| | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> A種 | <input type="checkbox"/> B種 | <input type="checkbox"/> C種 | <input type="checkbox"/> D種 |
| 12部門 | 8部門 | 5部門 | 3部門 |

4 部門登録 ※ □に☑して下さい。
合計部門登録数 () 部門

要素技術分野 ※ カッコ内は部門委員会略称

| | | |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 放射線部門(RT) | <input type="checkbox"/> 超音波部門(UT) | <input type="checkbox"/> 磁粉・浸透・目視部門(MT/PT/VT) |
| <input type="checkbox"/> 電磁気応用部門(ET/MFLT) | <input type="checkbox"/> 漏れ試験部門(LT) | <input type="checkbox"/> 応力・ひずみ測定部門(SSM) |
| <input type="checkbox"/> アコースティック・エミッション部門(AE) | <input type="checkbox"/> 赤外線サーモグラフィ部門(TT) | |

応用技術分野 ※ カッコ内は部門委員会略称

| | | |
|--|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 製造工程検査部門(IPI) | <input type="checkbox"/> 保守検査部門(MD) | <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門(RC) |
| <input type="checkbox"/> 新素材に関する非破壊試験部門(NMT) | | |

5 資料等送付先 (登録した部門の資料の送付先) ※複数の部門登録がある場合でも共通とさせていただきます。
(フリガナ) E-mail

4 部門登録
団体会員は、会員種別により部門登録数(上限)が下記ようになっておりますので、登録を希望する部門にレ点を入れて、合計部門登録数にレ点を入れた数を記入して下さい。

会員種別と
最大登録部門数

| 会員種別 | 部門数 |
|------|-----|
| A | 12 |
| B | 8 |
| C | 5 |
| D | 3 |

【記入例】C種会員(最大登録部門数が5部門)の場合

●5部門すべてを登録する場合

4 部門登録 ※ □に☑して下さい。
合計部門登録数 (5) 部門

要素技術分野 ※ カッコ内は部門委員会略称

| | | |
|--|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 放射線部門(RT) | <input checked="" type="checkbox"/> 超音波部門(UT) | <input type="checkbox"/> 磁粉・浸透・目視部門(MT/PT/VT) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 電磁気応用部門(ET/MFLT) | <input checked="" type="checkbox"/> 漏れ試験部門(LT) | <input type="checkbox"/> 応力・ひずみ測定部門(SSM) |
| <input type="checkbox"/> アコースティック・エミッション部門(AE) | <input checked="" type="checkbox"/> 赤外線サーモグラフィ部門(TT) | |

応用技術分野 ※ カッコ内は部門委員会略称

| | | |
|--|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 製造工程検査部門(IPI) | <input type="checkbox"/> 保守検査部門(MD) | <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門(RC) |
| <input type="checkbox"/> 新素材に関する非破壊試験部門(NMT) | | |

●3部門のみを登録する場合
(5部門未満の登録)

4 部門登録 ※ □に☑して下さい。
合計部門登録数 (3) 部門

要素技術分野 ※ カッコ内は部門委員会略称

| | | |
|---|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 放射線部門(RT) | <input type="checkbox"/> 超音波部門(UT) | <input type="checkbox"/> 磁粉・浸透・目視部門(MT/PT/VT) |
| <input type="checkbox"/> 電磁気応用部門(ET/MFLT) | <input checked="" type="checkbox"/> 漏れ試験部門(LT) | <input type="checkbox"/> 応力・ひずみ測定部門(SSM) |
| <input checked="" type="checkbox"/> アコースティック・エミッション部門(AE) | <input type="checkbox"/> 赤外線サーモグラフィ部門(TT) | |

応用技術分野 ※ カッコ内は部門委員会略称

| | | |
|--|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 製造工程検査部門(IPI) | <input type="checkbox"/> 保守検査部門(MD) | <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門(RC) |
| <input type="checkbox"/> 新素材に関する非破壊試験部門(NMT) | | |

5 資料等送付先

登録された部門では、学術行事の出欠にかかわらず、当日配布した資料を送付させていただきますので(ただしシンポジウムについては各部門の定めによります)、送付先ご担当者を記入して下さい。なお、複数の部門登録がある場合でも送付先は共通とさせていただきます。

| | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 製造工程検査部門(QPI) <input type="checkbox"/> 保守検査部門(MD) <input type="checkbox"/> 新素材に関する非破壊試験部門(NMT) | |
| 5 | 資料等送付先 (登録した部門の資料の送付先) ※複数の部門登録がある場合でも共通とさせていただきます。 |
| (フリガナ) | E-mail |
| 送付先担当者 | |
| 勤務先名・所属名 | |
| 勤務先所在地 | 〒(-) |
| 勤務先電話・FAX | |
| 6 | 部門委員会委員の登録 ※1部門の登録数は、3名まで |

【記入例】

| | | |
|-----------|---|-----------------|
| 5 | 資料等送付先 (登録した部門の資料の送付先) ※複数の部門登録がある場合でも共通とさせていただきます。 | |
| (フリガナ) | ヒカイ タロウ | E-mail |
| 送付先担当者 | 非破壊 太郎 | acd@jsndi.or.jp |
| 勤務先名・所属名 | (社)日本非破壊インスパート協会 秋葉原事務所 総務課 | |
| 勤務先所在地 | 〒(101 - 0026 東京都千代田区神田佐久間河岸67 MBR99 4階 | |
| 勤務先電話・FAX | 03-0000-0000 ・ 03-0000-0001 | |

6 部門委員会委員の登録

貴団体が登録された部門で、その部門の企画・運営に積極的に参画していただける方(貴団体に所属していれば正会員・非会員を問わない)がおられましたら、この欄にご記入ください。なお、一団体において個人会員を含めて1部門に3名まで部門委員会委員を登録することが可能です。

同じ方を複数の部門の部門委員会委員として登録することも可能です。その場合、「6」の表の「部門委員会(略称)」欄に複数の部門略称を記入していただいても構いません。

貴団体から部門委員会委員を登録されない場合でも、「4」で登録した部門の学術行事には、貴団体に属する方であれば、事前申し込みを条件に自由に参加することが可能です。

| 勤務先所在地 | | 〒(-) | | |
|----------------------|---------------------------|--------------------|-----------------|---------------|
| 勤務先電話・FAX | | | | |
| 6 | 部門委員会委員の登録 ※1部門の登録数は、3名まで | | | |
| 合計部門委員会委員登録数 ()名 | | | | |
| No. | (フリガナ) 登録者氏名 生年月日 | 勤務先名・所属名 勤務先所在地 | 勤務先電話 E-mail | 部門委員会 (略称) |
| 1 | | | | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |

注) 部門委員会委員の登録数が5人以上の場合、裏面の部門委員会委員登録にご記入下さい。

【記入例】 D種の場合(登録部門:RT・UT・MI)

①登録の3部門すべてに1名ずつの部門委員会委員をご登録の場合

| 6 | 部門委員会委員の登録 ※1部門の登録数は、3名まで | | | |
|---------------------|---------------------------|--|-------------------------------|---------------|
| 合計部門委員会委員登録数 (3)名 | | | | |
| No. | (フリガナ) 登録者氏名 生年月日 | 勤務先名・所属名 勤務先所在地 | 勤務先電話 E-mail | 部門委員会 (略称) |
| 1 | 佐藤 次郎 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 | (社)日本非破壊インスパート協会 秋葉原事務所 検査部 〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸67 MBR99 4階 | 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇@〇〇〇〇.〇〇.jp | RT |
| 2 | 加藤 一郎 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 | 同上 同上 | 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇@〇〇〇〇.〇〇.jp | UT |
| 3 | 鈴木 三郎 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 | 同上 同上 | 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇@〇〇〇〇.〇〇.jp | MI |
| 4 | | | | |

注) 部門委員会委員の登録数が5人以上の場合、裏面の部門委員会委員登録にご記入下さい。



団体会員用部門登録申請書

備考欄：
(事務局記入欄)

申請日：平成 年 月 日 ※ 本申請書の記入については、別紙の記入方法（記入例）をご参照下さい。

| | | | | | |
|---|---------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 | (フリガナ) 団体名 | | | | |
| 2 | 会員番号 | | | | |
| 3 | 団体種別 ※ □に☑して下さい。 | <input type="checkbox"/> A種 | <input type="checkbox"/> B種 | <input type="checkbox"/> C種 | <input type="checkbox"/> D種 |
| | 最大部門登録可能数 | 12部門 | 8部門 | 5部門 | 3部門 |

| | | | | | |
|---|--|---|--|--|--|
| 4 | 部門登録 ※ □に☑して下さい。 | | | | |
| | 合計部門登録数 () 部門 | | | | |
| | 要素技術分野 ※ カッコ内は部門委員会略称 | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 放射線部門(RT) | <input type="checkbox"/> 超音波部門(UT) | <input type="checkbox"/> 磁粉・浸透・目視部門(MT/PT/VT) | | |
| | <input type="checkbox"/> 電磁気応用部門(ET/MFLT) | <input type="checkbox"/> 漏れ試験部門(LT) | <input type="checkbox"/> 応力・ひずみ測定部門(SSM) | | |
| | <input type="checkbox"/> アコースティック・エミッション部門(AE) | <input type="checkbox"/> 赤外線サーモグラフィ部門(TT) | | | |
| | 応用技術分野 ※ カッコ内は部門委員会略称 | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 製造工程検査部門(IPI) | <input type="checkbox"/> 保守検査部門(MI) | <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門(RC) | | |
| | <input type="checkbox"/> 新素材に関する非破壊試験部門(NMT) | | | | |

| | | |
|---|---|--------|
| 5 | 資料等送付先 (登録した部門の資料の送付先) ※複数の部門登録がある場合でも共通とさせていただきます。 | |
| | (フリガナ) | E-mail |
| | 送付先担当者 | |
| | 勤務先名・所属名 | |
| | 勤務先所在地 | 〒(-) |
| | 勤務先電話・FAX | |

| | | | | |
|-----|---------------------------|--------------------|-----------------|-------------------|
| 6 | 部門委員会委員の登録 ※1部門の登録数は、3名まで | | | |
| | 合計部門委員会委員登録数 () 名 | | | |
| No. | (フリガナ) 登録者氏名 生年月日 | 勤務先名・所属名 勤務先所在地 | 勤務先電話 E-mail | 部門 委員会 (略称) |
| 1 | | | | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |

注) 部門委員会委員の登録数が5人以上の場合、裏面の部門委員会委員登録にご記入下さい。

キ
リ
ト
リ
線
(コピー可)

【この用紙に書き切れない場合は、この用紙をコピーして使用して下さい。】

6 部門委員会委員の登録 ※ No.をご記入の上、以下をご記入ください。

| No. | (フリガナ) 登録者氏名 | 勤務先名・所属名 | 勤務先電話 | 部門 委員会 (略称) |
|-----|-----------------|----------|--------|-------------------|
| | 生年月日 | 勤務先所在地 | E-mail | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

※この用紙は、JSNDI ホームページよりダウンロードすることができます。